

令和5年度 年間指導計画 国語科 1年生

目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
指導の重点	○話す能力、聞く能力、話し合う能力を身につけさせるとともに、考えを広げようとする態度を育てる。 ○構成を工夫して分かりやすく書く能力を身につけさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。 ○表現の仕方に注意して読む能力、情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

学期	月	時数	単元(題材)	学習内容
一学期	4	1	朝のリレー	新たな言葉との出会いを楽しみ、大きな声で朗読する。
		1	野原はうたう	表現の特徴について、自分の考えをもつ。
		4	声を届ける／書き留める／調べる	音読や発表、学習の記録の仕方、辞典の調べ方について理解する。
	5	3	(硬筆) 楷書を書こう	楷書の基本的な筆遣いや筆順、字形に気をつけて書く。
		4	シンシユン	登場人物の心情を表す表現に着目して、作品の理解を深める。
		1	情報を的確に聞き取る	聞き取った情報を整理し効果的にメモを取る方法を身につける。
	6	4	情報を整理して書こう	目的や相手に応じて、情報を比較したり分類したりして説明する。
1		漢字の組み立てと部首	漢字の組み立てと部首を理解する。	
2		ダイコンは大きな根?	段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。	
7	3	ちょっと立ち止まって	段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。	
	5	話の構成を工夫しよう	話の内容、構成、順序を工夫し、魅力的なスピーチをする。	
	3	言葉のまとまりを考えよう	言葉の単位について理解する。	
二学期	9	3	情報を集め、読み取り、引用しよう	グラフや表などの資料の読み取り方や、引用の仕方について理解する。
		2	詩の世界	詩の情景を想像し、表現の効果について考える。
		1	比喩で広がる言葉の世界	文章全体における段落の役割に着目し、文章の内容を正確に捉える。
	10	2	指示する語句と接続する語句	指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。
		4	読書を楽しむ	読書活動への導きを広げる。
		4	大人になれなかった弟たちに…	登場人物の行動や情景描写などに着目して読み、作者の思いを捉える。
	11	5	星の花が降るころに	文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して読む。
4		聞き上手になろう/項目を立てて書く	相手が答えやすいように質問をする。項目を立てて案内文を書く。	
4		方言と共通語/漢字の音訓	方言と共通語について理解する。漢字の音と訓について理解する。	
12	4	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	表や筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。	
	5	根拠を示して説明しよう	統計資料やアンケートを活用し、根拠が明らかな説得力のある文章を書く。	
	4	漢字に親しもう	小・中学校で習う漢字に親しみ、語彙を豊かにする。	
三学期	1	1	大阿蘇	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
		2	話題や展開を捉えて話し合おう	話し合いの目的や話題を常に意識し、展開に沿って話し合いをする。
		5	いろは歌	仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。
	2	4	蓬萊の玉の枝ー「竹取物語」から	語句に注意しながら、現代の文章と異なる部分を確認し、表現の特徴を知る。
		3	今に生きる言葉	漢文に親しみ、故事成語の由来と意味を理解する。
		4	「不便」の価値を見つめ直す	筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ。
	3	2	助言を自分の文章に生かそう	友達同士で文章を読み合い、表現や構成などについて助言をし合う。
2		言葉の関係を考えよう	文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。	
5		(毛筆) 書き初めを書こう	毛筆書写の学習の成果を生かして、書き初めを書く。	
3	2	(毛筆) 書き初めの鑑賞しよう。	友達の作品から、美しく見える配置や字形の整え方を学ぶ。	
	7	少年の日の思い出	場面展開や人物の描写に注意して読み、登場人物の心情変化を捉える。	
	2	単語の性質を見つけよう	単語が10種類の品詞に分類できることを理解し、それぞれの特徴を知る。	
3	2	(硬筆) 字形を整えて書こう。	用紙にあわせて見やすく配置して書く。	
	4	随筆二編	事物や情感を表す語句や表現に着目して読み、語感を磨く。	
	5	構成や描写を工夫して書こう	構成や描写を工夫し、体験を基に随筆を書く。	
3	4	様々な表現技法/漢字の成り立ち	様々な表現技法について理解する。漢字の成り立ちについて理解する。	
	2	新入生へメッセージを書く	相手や目的を考えながら言葉を選び、互いに読み合い自分の表現に生かす。	
	1	一年間の学びを振り返ろう	一年間の学びを振り返りながら、フリップにまとめ発表する。	
3	5	さくらの はなびら	詩の言葉や表現を読み味わい、作者の思いについて考える。	
	4	(硬筆) 生活に広げよう	これまでの学習を生かして封筒や便箋に硬筆で書く。	

評価の観点の趣旨	【主な学習目標】	主な評価資料
○知識・技能：具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。		定期テスト、小テスト等
○思考力・判断力・表現力：目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。		作文、スピーチ等 定期テスト、小テスト等
○主体的に学習に取り組む態度：言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		発言、態度、読書記録等

令和5年度 年間指導計画 社会科（地理的分野）1年生 小金井市立東中学校

目 標	小学校社会科の既習事項をふまえ、学習内容の関連を図りながら、世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解させる学習を行う。世界の地理的認識を養う。「地理的な見方・考え方」を働かせながら資料を読み取り、自分の考えを他者に伝える、表現する学習活動を重視する。
指導の重点	知識の習得に偏りすぎないように、思考・判断・表現力の育成に力を入れる。 ICT機器を活用し、生徒の関心・意欲を高め、主体的な学習を促し、適切な課題設定・発問を行い、学習内容の充実を図る。

学期	月	時数	単元（題材）	学 習 内 容
1 学 期	4	6	世界の姿	地球をながめて、いろいろな国名と位置 経度と緯度 地球儀と世界地図の違い
	5	6	日本の姿	世界の中での日本の位置 時差でとらえる日本の位置 日本の領域とその特色 都道府県と県庁所在地
	6	8	世界各地の人々の生活と環境	世界のさまざまな生活と環境 暑い地域の暮らし 乾燥した地域の暮らし、温暖な地域の暮らし 寒い地域の暮らし、高地の暮らし 世界各地の衣食住とその変化 宗教と生活のかかわり 調べ学習
	7	8	世界の諸地域 アジア州	アジア州の自然環境、アジアの農業や文化 中国と東南アジア、南アジア、西アジア・中央アジア
2 学 期	8	2	ヨーロッパ州	ヨーロッパ州の自然環境、文化 EUと人々の生活の変化、ヨーロッパの農業 EUの工業
	9	6		
	10	6	アフリカ州	アフリカ州の自然環境、文化と歴史、産業、自立への動き
	10	2	北アメリカ州	北アメリカ州の自然環境 移民の歴史と民族構成 大規模な農業、工業、 アメリカ合衆国の世界への影響
	11	5		
	11	3	南アメリカ州	南アメリカ州の自然環境、多様な民族と人々の生活 農業と工業 環境問題 産業の発展と開発にともなう問題
12	3			
12	3	オセアニア州	オセアニア州の自然環境 移民の歴史と多文化社会	
3 学 期	1	3	オセアニア州	産業 強まるアジアの結びつき
	2	4	まとめ	まとめ学習
	3	5	身近な地域の調査	地形図、統計資料、レポート

評価の観点の趣旨【主な学習目標】	主な評価資料
① 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に関心をもち、意欲的に意見を発表する。 課題に取り組む。	定期考査→①②③ ワーク提出→①②③
② 【思考・判断・表現】 社会的事象を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現する。	ノート提出→①②
③ 【知識・技能】 資料を適切に読み取り、効果的に活用する。	

令和5年度 年間指導計画 社会科（歴史的分野）1年生 小金井市立東中学校

目標	小学校社会科との関連を図り、史料文や写真などの資料を選択し、活用する学習活動を重視する。わが国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえて理解させる。
指導の重点	基礎・基本の習得を前提とし、歴史の大きな流れと歴史的事項の因果関係の理解を重視して指導内容を構成する。 chromebookを活用し、生徒の関心・意欲を高め、主体的な学習を促し、適切な課題設定・発問を行い学習内容の充実を図る。

学期	月	時数	単元（題材）	学 習 内 容
2 学 期	10	5	歴史の流れと時代区分	時代の移り変わりと時代区分、歴史の調べ方
			人類の登場から文明の発生	人類の進化、旧石器時代と新石器時代の生活
	11	5	東アジアの中の日本	世界各地の文明、アジアの文明 ヨーロッパの文明
			中国にならった国家づくり	縄文時代と弥生時代の生活、邪馬台国、古墳時代 飛鳥時代、聖徳太子の政治
	12	5	展開する天皇・貴族の政治	大化の改新、奈良時代の政治と生活 天平文化
			武士の世の始まり	平安時代の政治と生活、摂関政治、国風文化 武士の登場 院政、平氏政権 鎌倉時代の政治と生活 鎌倉文化
			武家政権の内と外	蒙古襲来、南北朝時代
3 学 期	1	5	人々の結びつきが強まる社会	室町時代、日明貿易
	2	5		琉球王国とアイヌ文化 産業の発達、一揆
	3	5		村と都市の自治 戦国時代、室町文化

評価の観点の趣旨【主な学習目標】	主な評価資料
<p>① 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に関心を持ち、意欲的に意見を発表する。 課題に取り組む。</p> <p>② 【思考・判断・表現】 社会的事象を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現する。</p> <p>③ 【知識・技能】 資料を適切に読み取り、効果的に活用する。</p>	<p>定期考査→②③</p> <p>ワーク→①③</p> <p>ノート→①③</p> <p>レポート→①②③</p>

令和5年度 年間指導計画 数学科 1年生

目標	数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。
指導の重点	(1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性と意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。 (2) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。 (3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。 (4) 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

月	学期	章	時数	節
4	1 学期 (4 8 時間)	0章 算数から数学へ	3	(とびら) どんなきまりがあるのかな? 1節 整数の性質
		1章 数の世界をひろげよう [正負の数]	4	(とびら) どんな数が入るのかな? 1節 正負の数
5			8	2節 加法と減法
		10	3節 乗法と除法	
		2	4節 正負の数の利用	
6		1	章の問題A	
		—	章の問題B p.604★他教科関連(地理)	
7		2章 数学のこたばを身につけよう [文字と式]	8	(とびら) 棒は何本必要かな? 1節 文字を使った式
			6	2節 文字式の計算
		3	3節 文字式の利用	
	1	章の問題A		
9	3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式]	—	章の問題B	
		7	(とびら) 何枚集まったのかな? 1節 方程式とその解き方	
	6	2節 1次方程式の利用		
	1	章の問題A		
10	4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例]	—	章の問題B	
		5	(とびら) どれくらい時間がかかるのかな? 1節 関数と比例・反比例	
	7	2節 比例の性質と調べ方		
	6	3節 反比例の性質と調べ方		
11	5章 平面図形の見方をひろげよう [平面図形]	3	4節 比例と反比例の利用	
		1	章の問題A	
	—	章の問題B		
	12	6章 立体の見方をひろげよう [空間図形]	6	(とびら) どうやって作ったのかな? 1節 図形の移動 p.158数学のまど★他教科関連(技術・家庭)
8			2節 基本の作図	
2		3節 おうぎ形		
—		(学びをひろげよう) デザインにひそむ数学		
1	7章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用]	1	章の問題A	
		—	章の問題B p.1864★他教科関連(保健体育)	
	3	(とびら) 斜塔なのに、どうして…? 1節 いろいろな立体		
	9	2節 立体の見方と調べ方		
2	7章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用]	5	3節 立体の体積と表面積	
		1	章の問題A	
	—	章の問題B		
	5	(とびら) チームにたりないものは…? 1節 データの整理と分析		
3	予備時間	1	2節 データの活用	
		3	3節 ことがらの起こりやすさ	
	—	(学びをひろげよう) スポーツでもデータ活用		
	1	章の問題A		
—	章の問題B			
合計			13	140

評価の観点及びその趣旨	主な評価材料
【知識・技能】・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	定期考査、小テスト
【思考・判断・表現】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	定期考査、小テスト
【主体的に学習に取り組む態度】数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとした り、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。	問題集、ノートやプリント、宿題、授業観察

目 標	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探求するために観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるとともにこれを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果に基づき表やグラフを作成し、レポートを作成発表する。またモデルなどの活用により思考力や表現力を養う。 ・科学技術が身近な生活に活かされていることと結びつけ、より理解を深めるとともに科学的な考え方を生活に活かせるように指導する。このため、ものづくりや生活に基づいた課題提示を行う。 ・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。 ・観測しにくい現象などをコンピュータやプロジェクタなどを用いてシミュレーションやイメージ画像として提示するなど、ICT機器を活用して生徒の思考と理解を支援する。 ・計算や力などつまずきやすい課題を、家庭で反復練習させるように支援し、小テストなどによって定着を図る。

学期	月	時数	単 元 (題 材)	学 習 内 容
				数字は予定時数
一 学 期	4	8	生命：いろいろな生物とその共通点 序章 自然の中にあふれる生命 (9)	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの生物の観察 ・生物の仲間わけのしかた ・花のつくり
	5	10	1章 植物の特徴と分類 (8) 2章 動物の特徴と種類 (9)	<ul style="list-style-type: none"> ・子葉・葉・根のつくり ・植物の体のつくりと生活 ・背骨のある動物 ・背骨のない動物 ・動物の分類
	6	10	力だめし (1) 予備 (1)	
二 学 期	6	2	物質：身のまわりの物質	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の区別 ・重さ・体積と物質の区別 ・気体の区別
	7	6	1章 いろいろな物質とその性質 (8) 2章 いろいろな気体とその性質 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりのものから発生した気体の区別 ・物質のとけ方 ・濃さの表し方
	9	11	3章 水溶液の性質 (6) 4章 物質のすがたとその変化 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・溶質のとりだし方 ・物質の姿の変化 ・状態変化と温度 ・混合物の分け方
	10	7	予備 (2)	
三 学 期	10	5	エネルギー：光・音・力による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・光の進み方 ・光が通りぬけるときのようす ・レンズのはたらき
	11	12	1章 光による現象 (9) 2章 音による現象 (5) 3章 力による現象 (9)	<ul style="list-style-type: none"> ・音の伝わり方 ・音の大小と高低 ・力のはたらき ・力の大きさのはかり方 ・重さと質量 ・1つの物体に2つの力がはたらくとき
	12	7	力だめし (1)	
三 学 期	1	3	予備 (1)	
	1	6	地球：活きている地球 1章 身近な大地 (4) 2章 揺れる大地 (4) 3章 火をふく大地 (7) 4章 語る大地 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な大地の変化 ・地域の大地の変化 ・ゆれの発生と伝わり方 ・ゆれの大きさ ・日本列島の地震 ・火山の噴火 ・マグマの性質と火山 ・マグマからできた岩石 ・日本列島の火山 ・地層のでき方 ・地層の岩石 ・地層・化石と大地の歴史 ・大地の恵みと災害
	2	12	力だめし (1)	
三 学 期	3	6	予備 (2)	

評価の観点の趣旨 【主な学習目標】	主な評価資料
<p>【知識・技能】 自然事象の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自然事象の規則性などを見出し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然事物現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている。</p>	<p>○知識・技能 授業態度、レポート・ワークシート・小テスト・定期テストなどで評価する。</p> <p>○思考・判断・表現 レポート・ワークシート・小テスト・定期テストなどで判断する。</p> <p>○主体的に取り組む学習他愛度 授業態度・自己評価・レポート・ワークシートなどで判断する。</p>

目 標	外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝えあったりする資質・能力の育成を目指す。
指導の重点	聞くこと、読むことの指導では、簡単な英文を読んだり聞いたりして、その概要を把握し内容を理解する力の育成を図る。話すこと、書くことの指導では、自分の考えや気持ちを短い文章で書いたり、それをスピーチで発表するなどの言語活動を通して、基礎的な表現力や伝え合う力の育成を図る。

学期	月	時数	単 元 (題 材)	学 習 内 容
一 学 期	4	10	フォニックス 語彙 Lesson 1 About Me GET Plus 1	○アルファベットの音と文字を理解する。 ○親しみのある語句を書く。 ○まとまりのある内容で自己紹介をする。
	5	15	Lesson 2 English Camp GET Plus 2	○クラスメイトの得意なことを尋ねたり伝えたりする。 ○ものの数を訪ねたり伝えたりする。
	6	15	Lesson 3 Our New Friend Take Action! Listen 1 Take Action! Talk 1	○人やものなどを説明したり描写したりする。 ○自分や相手の持ち物について対話する。
	7	12	Reading for Information 1 Project 1 理想のロボットを 発表しよう	○理想のロボットができることなどを考え、原稿を書いて発表する。
二 学 期	8	16	Lesson 4 My Family, My Hometown Take Action! Listen 2 Take Action! Talk 2 GET Plus 3	○イギリスの都市について書かれた紹介記事を読んで、その概要を把握する。 ○イベントの申込書に正確に記入する。 ○競技会場でのアナウンスを聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取る。
	9			
	10	15	Lesson 5 School Life in the U.S.A. Take Action! Listen 3 Take Action! Talk 3 GET Plus 4	○自分たちの学校生活について聞き手が興味をもつようにプレゼンテーションする。 ○買い物に訪れたお店で店員と対話する。
	11	15	Lesson 6 Discover Japan Take Action! Listen 4 Take Action! Talk 4	○今年の一歩の思い出について絵日記を書く。 ○伝言メッセージを聞いて必要な情報を聞き取る。
	12	11	Reading for Information 2 Project 2 英語のタウンガイドを作ろう Take Action! Listen 5 Take Action! Talk 5 GET Plus 5	○観光マップの情報を読んで必要な情報を読み取る。 ○自分たちの町の魅力を伝える文章を書く。 ○自分または相手の好きな漫画などについて情報を付け加えて会話する。
三 学 期	1	10	Lesson 7 Wheelchair Basketball	○物語文を読んでその概要を把握する。
	2	12	Lesson 8 Green Festival Take Action! Listen 6 Take Action! Talk 6 GET Plus 6	○環境を守るためにできることを考え、マニフェストを書く。 ○天気予報を聞いて必要な情報を聞き取る。
	3	9	Project 3 大切なものを紹介 しよう Reading for Fun	○いま自分が熱中しているものごとについて聞き手が興味をもつようにプレゼンテーションする。 ○アリスとハンプティ・ダンプティの物語を区切りと抑揚をつけて音読する。

評価の観点の趣旨 【主な学習目標】	主な評価資料
<p>① 【知識・技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 【思考力・判断力・表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>③ 【主体的に学習に取り組む態度】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>① 定期考査、単元テスト、インタビューテスト、発表、会話、英作文など</p> <p>② 定期考査、発表、会話、英作文など</p> <p>③ 言語活動への取組、宿題や提出物への取組み</p>

令和5年度 年間指導計画 音楽科 1年生

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。 ・ 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を豊かなものにしていく態度を養う。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌唱では、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活動を重視する。歌詞の内容や作詞者作曲者、使われている楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりなどを理解し、自らの音楽表現に活かせるようにする。 ・ 器楽、創作では、楽器の音色や響きと奏法との関わりや、音の重なり方、反復、変化、対照などの構造上の特徴を理解し、創意工夫した表現を目指す。 ・ 鑑賞では、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割などについて自分なりに考え、様々な視点で楽曲を捉えられることを目指す。

学期	月	時数	単 元 (題 材)	学 習 内 容
一 学 期	4	3	新しい仲間と思いきり歌おう ・ コンニチハハーモニー ・ 校歌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な歌い方 ・ 基本的な歌唱表現
	5	2	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソネット（詩）と音楽との関わりや音楽の形式について ・ （旋律や強弱などの）独奏ヴァイオリンと合奏による表現の違い
		3	情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう ・ 浜辺の歌 ・ 赤とんぼ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律の特徴や強弱の変化を生かした歌唱表現 ・ 日本語の美しい響きを生かした歌唱表現
	6	4	アルトリコーダーに親しもう ・ よろこびの歌 ・ かつこう	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルトリコーダーの基本的な奏法 ・ 豊かな音色や響きを生かした独奏や合奏の表現の工夫
二 学 期	7	3	思いをこめて合唱しよう (合唱コンクールに向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作詞者や作曲者、楽語や記号、曲の構成の理解 ・ 歌詞の意味や曲の背景にある情景や作者の心情、自己のイメージや感情をふくらませた歌唱表現
	9	7	・ 学年課題曲 ・ 各クラス自由曲 ・ 指揮法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指揮の基本的な表現方法
	10	5		
	11	3	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう ・ 「魔王」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素の知覚、感受 ・ 詩の内容と曲想の変化との関わり
12	2	人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう ・ ソーラン節 ・ かりぼし切り歌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の民謡が生まれた背景やそれぞれの民謡の特徴を理解 	
三 学 期	1	2	郷土に伝わる民謡を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べた民謡を発表するための工夫
2	5	ギターに親しもう ・ きらきら星 ・ よろこびの歌	<ul style="list-style-type: none"> ・ ギターの基本的な奏法 ・ ギターの音色や響きを生かした独奏や合奏の表現の工夫 	
	3	6	心通う合唱 (卒業式・入学式に向けて) ・ 在校生合唱	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作詞者や作曲者、楽語や記号、曲の構成の理解 ・ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

評価の観点の趣旨	【主な学習目標】	主な評価資料
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作詞者や作曲者、楽語や記号、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ・ 創意工夫を生かした表現をするために必要な歌唱の技能や、楽器で表現したり曲を創作したりする基礎的な技能が身に付いている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術などと関わらせながら、どのように表現するか思いや意図をもったり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽活動の楽しさを体験することを通して、主体的・協働的に粘り強く学習活動に取り組もうとしている。 	<p>【知識・技能】</p> <p>実技試験、定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>鑑賞文、定期考査、実技試験</p> <p>【主体的に取り組む態度】</p> <p>授業態度、各種提出物の内容、実技試験</p>	

令和5年度 年間指導計画 美術科 1年生

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 自然の造形や美術作品などの造形的な美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を養い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> アイデアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを示したりすることや、作品について説明し合うなどして対象の見方や感じ方を広げるなどの言語活動の充実を図る。

期 月	時数	単 元 (題 材)	学 習 内 容
一 学 期	4 1	オリエンテーション = 描画の基本 =	<ul style="list-style-type: none"> 美術の授業内容・評価に関して。
	5 3	< デッサンの基礎 >	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で動きをとらえる。 鉛筆によるグラデーション・形と陰影のとらえ方。
	6 8	< 色の基礎 >	<ul style="list-style-type: none"> 1 2 色相環・明度・彩度について。 色の仕組み、性質について。 有彩色と無彩色、混色、対比、について。
	7 2	= 色彩理論・表現 (絵画) = < モダンテクニック >	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な表現技法について。 主題から発想し構想する姿勢を身につける。 表現技法・描画材料を探究する姿勢を身につける。
二 学 期		= デザイン・平面構成 = < ポスター > (夏休みの宿題)	<ul style="list-style-type: none"> 構成美の要素について。 主題をもとにイメージを膨らませる。 表現技法の学習を活かし、創意工夫しながら描く。
	9	= 彫塑 =	<ul style="list-style-type: none"> 構成美の要素を活かしたデザインを考える。 絵の具で着彩を行う。 彫りの種類、ならい目と逆目について。 彫刻等の使い方、彫り方について。 刀痕の効果的応用を考えながら彫り進める。 ヤスリかけ及び塗装を行う。
	10	< 白彫ペーパーナイフ >	
	11	1	
12	8		
三 学 期	1 2 3	12 < 上履きデッサン >	<ul style="list-style-type: none"> じっくり観察し、動きをとらえる。 鉛筆によるグラデーション・形と陰影のとらえ方。

評価の観点の趣旨 【主な学習目標】	主な評価資料
<p>【知識・技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を工夫し、創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 提出物、作品、定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 提出物、作品、定期考査</p> <p>【主体的に取り組む態度】 授業への取り組み、提出物、作品</p>

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体化として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。
指導の重点	(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 (2)運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

学期	月	時数	単元(題材)	学 習 内 容
一学期	4	7	体づくり運動	・体ほぐし運動、体力を高める運動、新体力テストに向けて
		3	体育理論	・運動やスポーツの多様性
		10	陸上競技	・短距離走、リレー(運動会練習含む) ・ハードル走
	5	6	ダンス	・現代的なリズムのダンス(運動会練習含む)
		8	球技	・バレーボール
	6	3	保健分野	・健康な生活と疾病の予防
		7	12	水泳
二学期	9	3	保健分野	・心身の機能の発達と心の健康
		8	器械運動	・マット運動
	10	6	陸上競技	・走り高跳び、走り幅跳び
		6		・長距離走
	11	6		
12	6	柔道/ダンス	・男子:柔道 女子:ダンス	
三学期	1	6	ダンス/柔道	・男子:ダンス 女子柔道
		6	球技	・バスケットボール
	2	6	球技	・サッカー
		3	3	保健分野

評価の観点の趣旨【主な学習目標】	主な評価資料
<p>○【知識・技能】 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解するとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身につける。</p> <p>○【思考力、判断力・表現力等】 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせを工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組む。</p>	<p>・技能検査、授業観察、補助簿、筆記テスト</p> <p>・補助簿、提出物、授業観察、筆記テスト</p> <p>・授業観察、筆記テスト、補助簿、提出物、</p>

目 標	・生活と技術のかかわりについて理解を深め、進んで生活を創造する能力と実践的な態度を育てる
指導の重点	・材料と加工、生物育成に関して基礎的・基本的な知識や技術の習得をするとともに技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる

学期	月	時数	内容	単 元 (題 材)	学 習 内 容
一学期	4	2	材料と加工の技術	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の役割 ・技術の見方・考え方、技術と生活・産業 ・技術とエネルギー・環境
	5	4		生活や社会と材料と加工の技術 材料を利用するための技術	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を支える材料と加工の技術 ・さまざまな材料と加工の技術 ・木材・金属・プラスチックの材料と加工の技術 ・構造をじょうぶにする技術 ・製図（等角図、第三角法による正投影図）
	6	5		問題解決の手順	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見と課題の設定 ・設計
	7	3		製作のための技能（木材）	・材料取りと部品加工（木材）
二学期	9	4	材料と加工の技術	↑↓	↑↓
	10	4		製作のための技能（金属・プラスチック）	・材料取りと部品加工（金属・プラスチック）
	11	3		↑↓	↑↓
	12	3		これからの材料と加工の技術 学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術の学習のふり返し ・材料と加工の技術と私たちの未来 ・「材料と加工の技術」の学習のまとめ
三学期	1	2	情報の技術	生活や社会と情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を支える情報の技術 ・身の回りにある情報の技術
	2	3		情報とコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成 ・コンピュータの機能と装置 ・コンピュータを使って機器を自動で動かすしくみ
	3	2		↑↓	・コンピュータによる処理のしくみ

評価の観点の趣旨	【主な学習目標】	主な評価資料
① 知識・技能	【基本的事項を理解できたか】	作品、提出物、定期テスト
② 思考・判断・表現	【作品や作業に工夫があるか】	作品、提出物
③ 主体的に学習に取り組む態度	【課題に意欲的に取り組めるか】	授業への取り組み、作品、提出物

目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的-基本的な知識及び技術を取得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする態度を育てる。			
指導の重点	○生活に必要な基礎的-基本的な知識や技術を習得させる。 ○学んだことを定着させ、日常生活に生かすことができるようにする。 ○生活と技術とのかかわりについて理解できるようにする。			
学期	月	時数	単元(題材)	学習内容
一学期	4	1	ガイダンス	・小学校の家庭科を振り返り・中学校の家庭分野の学習
		2	B 衣食住の生活(食生活)	○健康と食生活 ・食事の役割について考える ・生活習慣と食事 -中学生に必要な栄養 ・食品と栄養素 ・食事の計画
	5	4		○調理をしよう ・調理の計画 ・調理の基本 ・安全な調理実習(米・肉・野菜・魚などの調理)
	6	3		
	7	3		
二学期	9	4		○食品の選択と保存 ・生鮮食品と加工食品 ・食品の表示 ・食品の選択・購入と保存 ・食品の安全と情報
		3		
		3		4 地域の食材と食文化 ①地域の食材と郷土料理 ②受け継がれる食文化
		3		
三学期	1	3	B 衣食住の生活(住生活)	○住まいの働き ・住まいの様々な役割
	2	3		○健康で安全な住まい ・家族の健康と室内環境 ・家庭内の安全
	3	3		○住まいと地域 ・災害への備え
評価の観点の趣旨【主な学習目標】				主な評価資料
知識・技能				授業プリント・定期テスト・調理実習
思考・判断・表現				授業プリント・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度				授業プリント・実習振り返り

月	資料名	内容項目	ねらい
4	1 道徳の授業を始めよう!	A(1)	入学時に直面する中学校生活特有の場面から、自主、自律の意識をもつことの大切さについて考えさせ、自分の責任で物事を決定しようとする判断力や心情を育てる。
	2 自分で決めるって?	A(1)	自然教室で登山の前日に中学校生活の始まりに際し、規則正しい生活の重要性について考えさせ、よりよい生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	3 三百六十五×十四回分の「ありがとう」	C(14)	家族から受け継がれてきた生命の流れの中で、深い愛情をもって育てられてきたことに気づかせ、家族の一員として家族を大切にしていこうとする心情を育てる。
5	4 「養生訓」より	A(2)	「養生訓」を取り上げた漫画を通して、健やかな体を養うために節度や節制のある生活を送ることの大切さ考えさせ、心と体の健康を考えて生活していこうとする実践意欲と態度を育てる。
	5 夢を諦めない	A(4)	困難に直面しても、信念をもって自らの仕事に取り組むことの大切さについて考えさせ、自分も目標に向かって努力しようとする実践意欲と態度を育てる。
	6 魚の涙	C(11)	社会や集団からいじめをなくしていくために行うべきことについて考えさせ、社会正義を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。
6	7 私の話を聞いてね	B(9)	自他の個性や立場を尊重し合って生きることの大切さを考えさせ、違いを認め合っていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	8 六十二枚の天気図	A(5)	真理を探究することの大切さを考えさせ、知識や真理を追究していこうとする実践意欲と態度を育てる。
	9 席を譲ったけれど	B(6)	他者への思いやりについて考えさせ、思いやりの心をもって行動しようとする実践意欲と態度を育てる。
	10 みんなで成功させよう	C(15)	役割と責任を自覚し、協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる
7	11 ひまわり	D(19)	東日本大震災、阪神・淡路大震災を巡る実話を通して、生命の尊さについて考えさせ、自他の命を大切にしていこうとする心情を育てる。
	12 墓窟での出来事	A(1)	自分の行動に責任をもつことについて考えさせ、自ら考え判断したことに責任をもって行動していこうとする実践意欲と態度を育てる。
9	13 父の言葉	B(6)	他者への思いやりについて考えさせ、思いやりのある行動をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	14 学習机	B(7)	社会生活を送るうえで責任感や礼儀の大切さについて考えさせ、時と場に応じた行動をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	15 言葉の向こうに	B(9)	異なる立場の者どうしのコミュニケーションの取り方や寛容さについて考えさせ、他者の思いや立場を考えて行動していこうとする実践意欲と態度を育てる。
	16 紙芝居	C(12)	社会に積極的に関わっていくことの大切さについて考えさせ、社会的な役割を果たし、自ら協力していこうとする実践意欲と態度を育てる。
10	17 私が働く理由	C(13)	さまざまな職業に就いている人々の仕事への思いや考え方などを知り、働くことの意義や喜びについて考えさせ、自らも充実した働き方をしようとする実践意欲と態度を育てる。
	18 仏の銀蔵	C(10)	近世を舞台にした高利貸しの男と金銭を借りている人々の物語を通して、法やきまりを守る心について考えさせ、それらを大切に生活しようとする実践意欲と態度を育てる。
	19 なおしもん	C(16)	重要無形文化財の輪島塗に関する文章を通して、郷土に根差した伝統と文化を継承していく心を養い、それらを大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	20 捨てられた悲しみ	D(19)	生命を尊ぶことについて考えさせ、生き物の命を大切にしていこうとする心情を育てる。
11	21 「ソーセージ」の悲しい最後	D(20)	人と自然がよりよい関係を築くために必要なことについて考えさせ、自然を尊重し、進んで自然を愛護しようとするための判断力を育てる。
	22 日本のお米	C(17)	伝統的な農業や文化を引き継いでいくことの大切さについて考えさせ、自分にできることをしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	23 異文化の人々と共に生きる	C(18)	異文化に属する人どうしが共生していくために大切なことについて考えさせ、異文化を尊重し、理解し合おうとする判断力や心情を育てる。
	24 撮れなかった一枚の写真	D(22)	ヒューマニズムや職業観について考えさせ、人としてよりよく生きていこうとする判断力や心情を育てる。
12	25 親友	B(8)	異性の友達と友情を育んできた生徒の物語を通して、性別等にとらわれない友情関係や信頼関係について考えさせ、友達を大切にしていこうとする実践意欲や態度を育てる。
	26 銀色のシャープペンシル	D(22)	自分の心の弱さを見つめ、改めることの大切さについて考えさせ、自分も弱さを乗り越えて生きていこうとする心情を育てる。
	27 やっぱり樹里は	C(11)	公正、公平な社会を実現するために大切な行動について考えさせ、公正、公平に行動していこうとする実践意欲と態度を育てる。
1	28 カメは自分を知っていた	A(3)	自己を知り、向上心を持って物事に取り組む姿勢について考えさせ、自分のよさを伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	29 命の木	D(21)	屋久島の原生林の様子を描いた文章を通して、自然の雄大さや生命の尊さについて考えさせ、それらへの感動を大切にしようとする心情を育てる。
	30 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」	D(19)	死を迎えようとする老人とそれを見守る家族を描いた文章と写真を通して、尊厳ある生と死の在り方について考えさせ、命を大切に生きていこうとする心情を育てる。
2	31 道徳の学びを振り返ろう	B(8)	一年間道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	32 いちばん高い値段の絵	B(8)	画家のミレーとルソーとの関係を描いた物語から、互いに思いやりをもち、信頼し合う人間関係について考えさせ、友達と信頼関係を築いていこうとする心情を育てる。
	33 雨の日の昇降口	C(10)	きまりを守ることの大切さや公德心について考えさせ、住みよい社会にするために、公德心をもって生活しようとする実践意欲と態度を育てる。
3	34 初めての伴奏	C(15)	お互いの役割や能力を尊重し、協力し合うことの大切さについて考えさせ、よりよい学校生活を自らつくっていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	35 橋の上のおおかみ	B(8)	意地悪な行いをしていたおおかみが、自らの行動を改める物語を通して、思いやりについて考えさせ、相手の立場に立って行動しようとする心情を育てる。